

「東お多福山ススキ草原復元」活動報告

森脇肇子

2018年12月8日(土) 9:00~14:30

実施項目 : 1) 全面刈り 斧田一陽、田島聖子、森脇肇子 (3名)

作業内容 :

参加者約50名が2班に分かれ作業した。最初の一時間位は、阪神間の茅葺民家に使用するススキを収穫した。背丈ほどある立派なススキが、昨年より短時間で多く収穫された。その後JACのメンバーは、刈り払い機の作業が難しい階段や木の周りの手刈りや、刈り取り機の刈り取った残骸を集積した。今回は年内最後の全面刈りなので、決められた範囲内の全ての植物が全て刈り取られた。ネザサの背丈も活動の回数が重なるに連れて、低く細くなっているため、今回も広範囲に渡って綺麗に刈り取られ、一段と草原の面積が広がっていた。草原は風をよけるものが全て刈り取られ、六甲山頂からの冷たい北風をまともに受けることになるが、場所によっては、嘘のように暖かく感じられる別天地があった。斧田氏がそこを見つけ昼食を頂いた場所は、達成感も加わって極上の贅沢な時間となった。

